

平成29年度 神河町社会福祉協議会 事業報告書

《 総 括 》

◎社協財産の健全運営

本会が保有する財産のうち、社会福祉充実残額（剰余財産）が7.5千万円生じたことを受け、その活用については、障がい者の活動拠点に7千万円、介護サービス事業運営に0.5千万円を、5年計画を立てて還元することを理事会、評議員会で了承いただきました。社協一般会費額についても本会の資産状況を鑑み、減額見直しすることを協議し、30年度から実行いたします。一方で、住民の方々からの善意銀行預託については件数、金額ともここ数年、減少傾向が続いていることが懸念されます。

◎地域づくり支援

介護保険法の改正で設けられた生活支援体制整備事業については平成28年7月から町委託事業として取り組んでおり、町健康福祉課と協同で各集落への事業説明を一通りおこなったなか、地域協議体が立ち上がった集落が全体の四分の一となりました。

今後も、この事業の推進役である生活支援コーディネーター職員が地域に出向き、丁寧に説明をしながら地域協議体の設置ならびに運営支援をおこないます。

◎迅速な事業提供と見直し

本会では生活困窮世帯の自立支援や過疎地域住民の生活支援など、社会変化から生じる様々な福祉課題に対し、新たな事業を立ち上げたり、該当事業の拡充を図るなどして、迅速に対応しています。

なお、既存事業の点検評価を各職員が適時おこなうようにしており、変化する福祉課題に合わなくなった事業があれば、整理、見直しを進め、職員の業務が膨れ上がるのを抑えています。

◎介護サービスの運営

介護サービス事業においては、非常勤の応募がなく限られた職員数のなか、訪問入浴事業が大きく牽引したことで、全体の報酬実績が伸びました。どの職員も常に介護の質の向上に努めており、利用者やその家族からの評価も高いです。そこで報酬実績に応じて、新たに何らかの形で事業職員に還元する仕組みを設けたいと考えます。

1. 法人組織運営

(1) 理事会・評議員会・監事監査

※○、□数字は議案番号を示す

開催日	会議の名称	協議内容	出席者
5月31日	決算監査	*平成28年度神河町社協の各事業ならびに会計監査	監事 2名
6月6日	○第73回理事会	①平成28年度神河町社協事業報告 ②平成28年度神河町社協会計決算 ③評議員選任解任委員会に提案する3名の評議員候補者 ④評議員会に提案する新役員候補者について ⑤社会福祉充実計画案について ⑥定時評議員会の招集ならびに議案の確認 ⑦善意銀行地域づくり助成事業申込審査No.17	理事 9名 監事 2名
6月6日	評議員選任解任委員会	新評議員候補者3名の選任について	委員長 3名
6月27日	□第40回評議員会	①平成28年度神河町社協事業報告 ②平成28年度神河町社協会計決算 ③任期満了に伴う理事及び監事の選任 ④役員等の報酬に関する規程の制定 ⑤社会福祉充実計画の承認	評議員 21名 会長、副会長 監事 1名
6月27日	○第74回理事会	⑧会長、副会長の選定について ⑨善意銀行地域づくり助成事業申込審査No.18	理事 8名 監事 2名
9月14日	○第75回理事会	*社会福祉充実計画の着手について *地域協議会の運営受託と候補者の選定 *社協経理規程の一部改正について	理事 6名 監事 2名
11月7日	中間監事監査	*平成29年度上半期の社協の各事業ならびに会計監査	監事 2名 会長
11月13日	○第76回理事会	⑩平成29年度神河町社協会計第1次補正予算 *平成29年度中間監事監査の結果報告	理事 7名 監事 2名
11月28日	□第41回評議員会	⑥平成29年度神河町社協会計第1次補正予算 *平成29年度中間監事監査の結果報告	評議員 17名 会長、副会長 監事 1名
1月27日	○第77回理事会	*介護職員初任者研修の実施 *次年度の活動計画の策定に向けて	理事 7名 監事 2名
3月7日	○第78回理事会	⑪平成29年度神河町社協会計第2次補正予算 ⑫平成30年度神河町社協事業計画	理事 8名 監事 2名

		⑬平成 30 年度神河町社協会計予算	
3 月 28 日	□第 42 回評議員会	⑦平成 29 年度神河町社協会計第 2 次補正予算 ⑧平成 30 年度神河町社協事業計画 ⑨平成 30 年度神河町社協会計予算	評議員 22 名 会長、副会長

(2) 他の機関、団体との意見交換

①町議会議員団

神河町議会からの申し出を受け、7 月 25 日に議員団 10 名と社協職員との意見交換会を実施いたしました。社協の取り組み活動を説明したなかで、災害時の社協が担う役割や送迎に関する活動、雪かきボランティア活動に強い関心を示されていました。

②保護司会

ある仮釈放中の方の生活支援をするうえで、いろんな課題が出たため、保護司さんに申し出をおこない、10 月 31 日に社協と保護司会 8 名とで個人情報の提供や連携体制について、初めてとなる意見交換の場を設けました。

(3) 役職員研修

今後、社協が障がいのある方の活動拠点を設置する計画があることを踏まえ、まずは知的障がい、精神障がいの方々の特性や生きづらさを理解することを目的に、1 月 27 日にあかりの家（高砂市）の濱口センター長を招いての役職員研修会を開催しました。

(4) 職員数の増減

			平成 30 年 4 月	平成 29 年 4 月	年間の増減状況
常勤	正規	事務職員	5 名	5 名	
		訪問介護員	5 名	5 名	
		介護支援専門員	3 名	3 名	
	再雇用	介護支援専門員	1 名	1 名	
	嘱託	訪問入浴看護員	1 名	1 名	
非常勤	登録	訪問介護員	5 名	5 名	採用+1 産休-1
		訪問入浴介護員	2 名	2 名	
		訪問入浴看護員	2 名	3 名	退職-1
		運転員	1 名	1 名	
		生活支援員	1 名	1 名	
合 計			26 名	27 名	

(5) 住民や利用者等から指摘や苦情および業務中の事故

苦情等は特になく、交通事故も含め、業務中の事故はありませんでした。

2. 自主財源の確保（募金・預託関係）

（１）「善意の募金運動」

6 月に各世帯へ、ポケットティッシュと使途説明書をつけて募金協力を呼びかけ、集落内の取りまとめを区長さんに依頼しました。募金の目安額はこれまでどおり 300 円。

年 度	募金額	前年度比較
27 年度	1,100,571 円	＋ 6.0%
28 年度	1,051,531 円	－ 4.5%
29 年度	1,046,895 円	－ 0.4%

※29 年度は中播磨県民センターから 14,000 円の募金を含む

（２）社協会費

- ① **一般会費** 6 月に区長さんを通じ、一世帯当たり 1,200 円の一般会費について納入協力を求めました。

年 度	納入額	納入戸数	加入率
27 年度	4,060,800 円	3,384 戸	81.7%
28 年度	4,033,500 円	3,362 戸	80.1%
29 年度	4,040,800 円	3,368 戸	80.4%

- ② **特別会費** 6 月に町内 110 カ所の事業所に対して一口 1,000 円×口数の特別会費の納入協力を求めました。

年 度	納入額	内 訳
27 年度	555,000 円	事業所 98 件 個人 0 件
28 年度	561,000 円	事業所 98 件 個人 0 件
29 年度	549,000 円	事業所 94 件 個人 0 件

（３）善意銀行預託

『社会のために少しでも役に立つことをしたい』という善意の気持ちを金銭でお預かりし、地域福祉の推進に、またひろく福祉のまちづくりのために活用します。

年 度	預託総額（円）	件数
27 年度	4,471,686 円	88 件
28 年度	3,720,639 円	97 件
29 年度	2,366,081 円	79 件

※27 年度は姫路十字会からの大口預託あり

3. 当事者を支援する活動

(1) 福祉給食サービス事業〔※共同募金配分事業（一部）〕

安否確認を目的として、概ね 75 歳以上の独居世帯等を対象に 1 食 200 円で夕食のお弁当を毎週 1 回配食しています。食中毒予防対策として、例年どおり夏場〔6 月～9 月〕は、業者（神崎フード）へ調理委託しました。現在のサービス実利用者数は 126 人。

利用者は日頃、孤食が多いため、集落公民館などを借りてブロック毎に、送迎付きの会食会を年 1 回実施してみましたが、参加者総数は 34 名にとどまりました。

年度	配食総数	登録調理ボランティア	配食ボランティア
27 年度	5,724 食	28 グループ	個人 44 名と 1 グループ
28 年度	5,044 食	27 グループ	個人 50 名と 1 グループ
29 年度	4,966 食	26 グループ	個人 50 名

(2) まちの子育てひろば活動支援

申請のあった 6 団体に対し 30,000 円を上限に、総額 157,625 円の助成を行いました。

※長谷幼稚園は今年度対象者がいないため、ひろばの開設はありません。

(3) たまゆらの会（介護者の会）事務局

＊会員数 16 名

＊主な活動 介護研修や意見交換会、レクリエーション活動などを月 1 回実施

＊社協助成 50,000 円

(4) 老人憩いの日設定事業

赤十字奉仕団との共催で、9 月 29 日、町内の 75 歳以上のひとり暮らし高齢者 82 名が参加しての会食会を、グリーンエコーを会場に開催しました。奉仕団員や職員による手品の披露やどじょうすくい演技に、会場はたいへん盛り上がりました。

(5) 歳末たすけあい募金配分活動

神河町共同募金会を通じて町民の方々にご協力いただいた歳末募金をもとに、社協が次の活動を実施しました。活動総額は 1,908,415 円。

- ① 在宅で介護が相当必要な方（79 人）へ見舞品を配布
- ② 就学援助受給児童、生徒（104 人）に支援金を配布
- ③ 生活困窮世帯（8 世帯 16 人）に支援金を配布
- ④ 町内の保育園（2 か所）へ絵本等の購入を助成
- ⑤ ひとり暮らし高齢者等（18 人）への年末大掃除の代行サービスを提供
- ⑥ 体が不自由な方たちの外出旅行「遠くへ行こうデー」の開催〔10 月 17 日〕
- ⑦ 幼児のクリスマスイベント“なかよしお楽しみ会”への助成〔12 月 9 日〕

（６）子育て世代支援事業（おゆずりプラザ）

12月9日、きらきら館で開催の“なかよしお楽しみ会”に合わせ、その隣で「おゆずりプラザ」を開催したところ、半日程度の開催にもかかわらず約50組の来場がありました。

この事業は、使用せず眠っている子育て用品を社協が譲り受け、それを子育て中の方々へ無料あるいは安価で譲り渡すもので、45名の方から寄付がありました。

（７）グリーフケアサロン

この一年間に亡くなられた町内の介護施設や事業所の利用者さんの、その家族に呼びかけ、看取ったあとも抱え続ける喪失感や後悔の念を癒す（＝グリーフケア）ためのサロンを12月17日に開催し、13名の参加がありました。他の施設職員の参加も得られ、各職員が丁寧にご家族のお話を聞きました。

（８）福祉プチショップの開設

洗剤やタオルなど、家にある未使用品の提供を広く呼びかけたところ、8名の方から提供いただき、それを社協窓口で来所者へ安価で販売しました。売上額は24,900円となり、これを生活が特に困窮した方の緊急支援に充てます。

4. 住民安心サービスの提供

（１）生活福祉資金の貸付事業（※県社協からの委託事業）

他からの資金の利用が困難な低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯に対し、資金を貸付けることで経済的自立を図り、社会参加を促します。

相談が3件あり、事業説明をおこないましたが、どれも申請には至りませんでした。

① 福祉資金 《生活課題の解決と自立を支援するための一時的費用》

→ 新規貸付や貸付償還中はなし

② 教育支援資金 《高校、大学等への入学のための費用や在学中の授業料》

→ 新規貸付0件。貸付状況は1件500,000円。滞納状態のため民生委員と自宅訪問をおこない指導をしたが改善は見られません。

③ 総合支援資金 《失業者が就労するまでの再建のための生活費用》

→ 新規貸付0件。6月に1件80万円の完済があり、現在の貸付状況は5件2,940,000円。そのすべてが滞納または遅延償還中。

（２）福祉サービス利用援助事業《※県社協委託事業》

「通帳が見当たらず何度も再発行する」「お金の計算が疎い」など、認知症や障がいなどにより判断能力が十分でない方の、通帳や印鑑を預かり日常の金銭管理を支援するサービスで、利用者数は9名（死去により1名減）。

(3) 「お悩み生活相談」と、「法律相談」〔※共同募金配分事業〕

お悩み生活相談は偶数月第2金曜日、住民の抱えるあらゆる悩みや困りごとに対し、役場地域包括支援センター職員も相談員に加わり、4名体制をとりましたが、年間の利用件数は1件に留まりました。そのため役場担当課と検討し、30年度からは「行政・人権相談」とし、相談内容の特化を図ります。

法律相談は奇数月第4水曜日に兵庫県弁護士会から派遣された弁護士に担当いただき、利用も毎回4件前後あります。

	お悩み生活相談	法律相談
27年度	7人	27人
28年度	19人	27人
29年度	1人	24人

(4) 日常生活用具貸与事業

ケガや病気などで身体機能が低下された方に、介護用ベッドや車いすを貸出ししています。ベッドに限り、搬入搬出手数として1,000円を負担いただいています。これまでポータブルトイレや歩行器、スロープ等は住民さんから提供を受け、それを貸出ししていましたが、29年度からは貸出しを止め、希望される方へ無償でお譲りしました。

	介護用ベッド	車椅子	その他の福祉用具
27年度	15件	33件	9件
28年度	35件	28件	5件
29年度	13件	29件	—

(5) 介護用品の販売

紙おむつをケース単位での受注販売を行っており、自宅まで配達します。販売額の5%程度が社協の自主財源となります。紙おむつを取り扱う小売店数の増加と、社協窓口での購入者数の減少が進んでおり、30年度に事業の点検、評価をおこないます。

	売上総額	前年度比較
27年度	1,076,126円	— 0.4%
28年度	937,540円	— 12.9%
29年度	711,049円	— 24.2%

(6) 外出困難者支援サービス事業〔※共同募金配分事業〕

道路運送法の福祉有償運送事業として、車椅子やストレッチャーを要する方を対象に、スロープあるいはリフト付の福祉車両を用いて神崎総合病院等への送迎を実施しています。これまで運転員を募集しても応募がなく、事務職員が常に運転を務めている状況です。

利用料は町内往復500円、近隣町往復1,000円、姫路、朝来往復2,000円。

	利用者数	利用回数
27 年度	36 人	451 回
28 年度	37 人	397 回
29 年度	34 人	370 回

(7) 福祉車両の貸出し

歩行が困難な方の家族に、車いすのまま乗れる福祉車両（平成 25 年度姫路十字会寄贈）の無料貸出しを行っており、誰が運転しても補償される任意保険の加入や、運転される方の運転免許証確認を行うなど、事故防止に努めています。

	貸出回数
27 年度	246 回
28 年度	209 回
29 年度	171 回

(8) お買い物送迎サービス

交通の利便性が乏しい集落（新田・作畑、上小田）に月 1 回、自宅から栗賀町のスーパーマーケットまで、乗り合い送迎を行ってきましたが、加えて商業施設が閉店した寺前周辺集落（比延・寺前・鍛冶）の買い物送迎を、9 月～3 月の間は月 2 回実施しました。また 10 月からは、越知谷、小田原エリアに拡大してのお買い物送迎を開始しました。

運転免許を持たない高齢者等世帯の 41 名が登録し、年間延べ 142 人が利用されました。

(9) 善意銀行「地域づくり助成事業」

地域福祉を高める活動に対し、理事会で審査したうえで、5 万円を上限に集落助成をおこなっています。8 年が経過しましたが、利用申請されていない集落が 3 の 1 程度あり、あと 2 年でこの事業を一旦区切ることとし、その間に見直し検討を図ります。

	集落名	助成申込額	可否	内 容
1	寺野	50,000 円	可	老朽化した集落集会所に設置の掲示板の建て替え
2	大山	50,000 円	可	ミニディ時や災害時の情報確保のため、集落公民館に薄型テレビを設置
3	根宇野	50,000 円	可	劣化した集落公民館スリッパの買い替え

(10) どこでもサロン

譲渡を受けた車両で地域の高齢者宅前に出向く移動型の喫茶サロンを企画しましたが、利用はありませんでした。一方でミニディなどから依頼を受け、車両に搭載の湯沸かし器でおこなった足浴はたいへん喜ばれました。

(11) 社協「終活セミナー」

これまでの人生を振り返り、いずれ迎える終焉までに何を整理し、準備しておくかを考える終活セミナーを昨年度に引き続き、12月に2日間開催しました。今回のテーマは「介護と終末医療」「葬儀、お墓事情」で、毎回30名前後の住民参加がありました。

(12) 成年後見制度「法人後見」への準備

社協が法人後見人として活動している香川県琴平町社協へ県社協が視察する際に本会職員も同行し、活動状況を見てきました。この活動を円滑に進めるためには、司法書士会や家庭裁判所などとの連携、協力が重要であることを学んできました。

(13) 生活支援コーディネーター委託事業

立ち上がっている9集落（越知・杉・大山・猪篠・高朝田・大川原・本村・為信・栗）の協議体では、“いつまでも元気で安心して暮らせる地域づくり”についての話し合いを、生活支援コーディネーターも加わり、継続的におこなわれており、新たな集い場や健康づくりの場が生まれたり、支え合いの仕組みづくりに取り組まれたりしています。また、個別のケースから地域課題を掴み、地域でできる支援体制づくりも進めています。

独居高齢者や支援が必要となった方を対象に食生活のアンケート調査を実施しており、アンケート結果をもとに、高齢者の食の支援についてさらに検討を深めます。

5. 福祉学習・福祉啓発の取り組み

(1) ボランティア推進活動校助成事業

子どもたちに、授業や部活動をつうじて福祉活動、ボランティア活動に理解と関心を高めてもらうため、町内すべての学校（6校）へ、総額527,779円を助成しました。年度終了後は、すみやかに活動報告書の提出と助成金の清算を行いました。

〈助成額〉	・ 神崎高校	… 100,000 円	・ 長谷小学校	… 99,213 円
	・ 寺前小学校	… 94,826 円	・ 神崎小学校	… 74,170 円
	・ 越知谷小学校	… 100,000 円	・ 神河中学校	… 59,570 円

(2) “ちょっといいこと運動”

善意の気持ちを行動に移すきっかけとして、本会が独自に提唱するちょっといいこと運動を、6月の善意の月間に広報紙で町民に呼びかけました。また学校を通じて、夏休み期間中に子ども達にも取り組んでもらい、保護者からはこの活動で子どもが成長したとの感想を多くいただきました。

（３） 神河中学校トライやるウィークの受け入れ

6月5日～9日までの期間中、3名の生徒を受け入れました。社会福祉協議会の役割や活動の説明のほか、ホームヘルパーに同行して利用者宅を訪問し、入浴介助や掃除などを体験しました。また福祉給食サービスで配食先の高齢者へ優しく声掛けしました。

（４） 福祉教育として学校等へ出張講師

要請があれば職員が講師として学校に出向き、子どもたちに興味、関心が高まる授業となるよう努めました。

- ・ 6月15日 長谷小学校全校生／視覚障がい者疑似体験
- ・ 11月2日 神崎小学校杉の子学級4～6年生／車椅子体験
- ・ 11月29日 神崎小学校4年生／アイマスク体験
- ・ 2月19日 越知谷小学校6年生／高齢者疑似体験

（５） タイムレター

青少年の健全育成を願い、多感な年頃の中学3年生へ、これまで大事に育ててくれた親への感謝の気持ちを素直に手紙に書いてもらい、それを社協が未開封のまま大切に保管し、10年後にその家族へ発送します。時が経って改めて家族の大切さを実感されるでしょう。この取り組みに神河中学校の協力も得られ、3年生のほぼ全員の手紙を預かりました。

6. ボランティア活動の推進

（１） ボランティア登録状況

ボランティア活動される方は最初に社協ボランティアセンターへ登録してもらうことで、ボランティア活動保険に加入され、活動支援助成の申込み対象となります。

	29年度	28年度	27年度
グループボランティア	105団体	107団体	106団体

5月30日のボランティア連絡会には39団体が出席するなか、社協からはボランティアに関する事業予定について説明をおこないました。また各グループが活動を紹介し合い、軽食を囲んでの交流ではグループ間の新たなつながりができました。

（２） ボランティア活動支援助成〔※共同募金配分事業（一部）〕

社協ボランティアセンターに登録し、年に3回以上継続活動されるボランティア活動者に活動支援助成を行っており、申請のあった66グループ（1グループ上限30,000円）と、2人の個人ボランティア（1人上限10,000円）へ総額1,861,052円を助成しました。

(3) ミニディ運営の協力、支援

集落ミニディから要望が出れば職員が出向き、映画の上映や、カルタ遊びなどのレクリエーションで楽しんでもらいました。また 29 年度からは、輪投げなど 2 種目の競技得点をミニディ間で競い合う「社協スポーツ杯」を創設したところ、10 地区に参加いただき、大いに盛り上がりました。

(4) 夏休みこども塾

8 月 17、18 日に開催した夏休みこども塾に小学生が延 37 名参加し、神崎高校生やシニアボランティアに宿題を見てもらいました。昼食は男性料理教室の参加者に腕試しを兼ねてお願いしました。午後からは阪神淡路大震災 1.17 イベントに使用するろうそくを大河ボランティアの指導のもと皆で作製しました。

(5) 善意の物品預託

住民の方々から預託いただいた善意の物品は、社協広報紙で紹介しながら適切に払い出しを行っています。

内 容	預託件数	数量	払い出し先
ぞうきん	2	321 枚	町内の各学校へ
高齢者衣類、肌着	4	多数	たまゆらの会と生活困窮者へ ※一部保留
介護用品	8	多数	たまゆらの会と要介護の方へ
タオル等	2	多数	たまゆらの会と必要な方へ
介護用具	3	5 点	必要な方へ ※一部保留中
図書カードなど	2	多数	生活困窮者へ ※一部保留中
ベッド	1	1 台	必要な方へ
お米	14	1,360 kg	生活困窮者、福祉給食サービス、ワーカーズコープ、フードバンク関西 ※一部保留中

7. 居宅介護サービスの提供

☆ 居宅介護サービス〔5 事業総計〕

	報酬総額	前年度比較
27 年度	63,230,222 円	－ 1.1%
28 年度	61,428,787 円	－ 2.8%
29 年度	67,110,232 円	＋ 9.2%

① 訪問介護事業〔自宅にて食事や排せつの介助、掃除や洗濯などのサービスを提供〕

	事業報酬	前年度比較
27 年度	19,901,692 円	－ 5.5%
28 年度	19,542,693 円	－ 1.8%
29 年度	19,961,342 円	＋ 2.2%

② 訪問入浴介護事業〔自宅へ浴槽を持ち込み、寝たきりの方の入浴サービスを提供〕

	事業報酬	前年度比較
27 年度	11,539,490 円	－ 0.9%
28 年度	9,001,314 円	－22.0%
29 年度	13,426,120 円	＋49.2%

③ 居宅介護支援事業〔要介護者が必要とする介護サービスの利用計画を作成〕

	事業報酬	前年度比較
27 年度	24,178,570 円	－ 0.9%
28 年度	24,474,040 円	＋ 1.2%
29 年度	25,034,050 円	＋ 2.2%

④ 障害者自立支援 居宅介護・同行援護〔障がいのある方へのホームヘルプサービスを提供〕

	事業報酬	前年度比較
27 年度	5,968,340 円	－ 0.6%
28 年度	6,927,470 円	＋16.1%
29 年度	6,871,730 円	－ 0.8%

⑤ 障害者自立支援 特定相談支援事業〔障がいのある方への介護サービス利用計画書を作成〕

	事業報酬	前年度比較
27 年度	1,642,130 円	＋98.0%
28 年度	1,483,270 円	－ 9.7%
29 年度	1,816,990 円	＋22.5%

○ 公益財団法人姫路十字会からの訪問入浴車購入助成

訪問入浴車が15年を経過し老朽化が目立ってきたため、姫路十字会の心身障がい者施設等助成事業に、訪問入浴車の買い替えにかかる費用の助成申請をした結果、満額の561万円の助成決定を受けることができ、30年1月からは新しい入浴車が稼働しています。

○ 正規訪問介護員の勤務時間の見直し

利用者から勤務時間外（土日、朝、夕方）での訪問ニーズが高まっており、人件費の抑制と働き方の見直しから、訪問介護員の勤務の開始、終了時刻を利用ケースに応じ、最大1時間前後させることにしました。

○ 研修への講師派遣

兵庫県が主催するケアマネジャーの実務研修、更新研修に本会の主任ケアマネジャーが年間20回、神戸の研修所まで行って講師を務めました。

○ 介護職員初任者研修

町シングルマザー移住支援協議会と業務委託契約を結び、県の指定を受け、他施設の協力を得ながら131時間を要する介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級相当）を初めて開催しました。6名の受講があったなか、研修修了後に社協へ就職された方はいませんでした。